公民館機能のゾーニング

公民館機能について、今後の機能配置・ゾーニング検討への活用を見据え、以下の２つの軸を設定し各機能の特性を可視化しました。

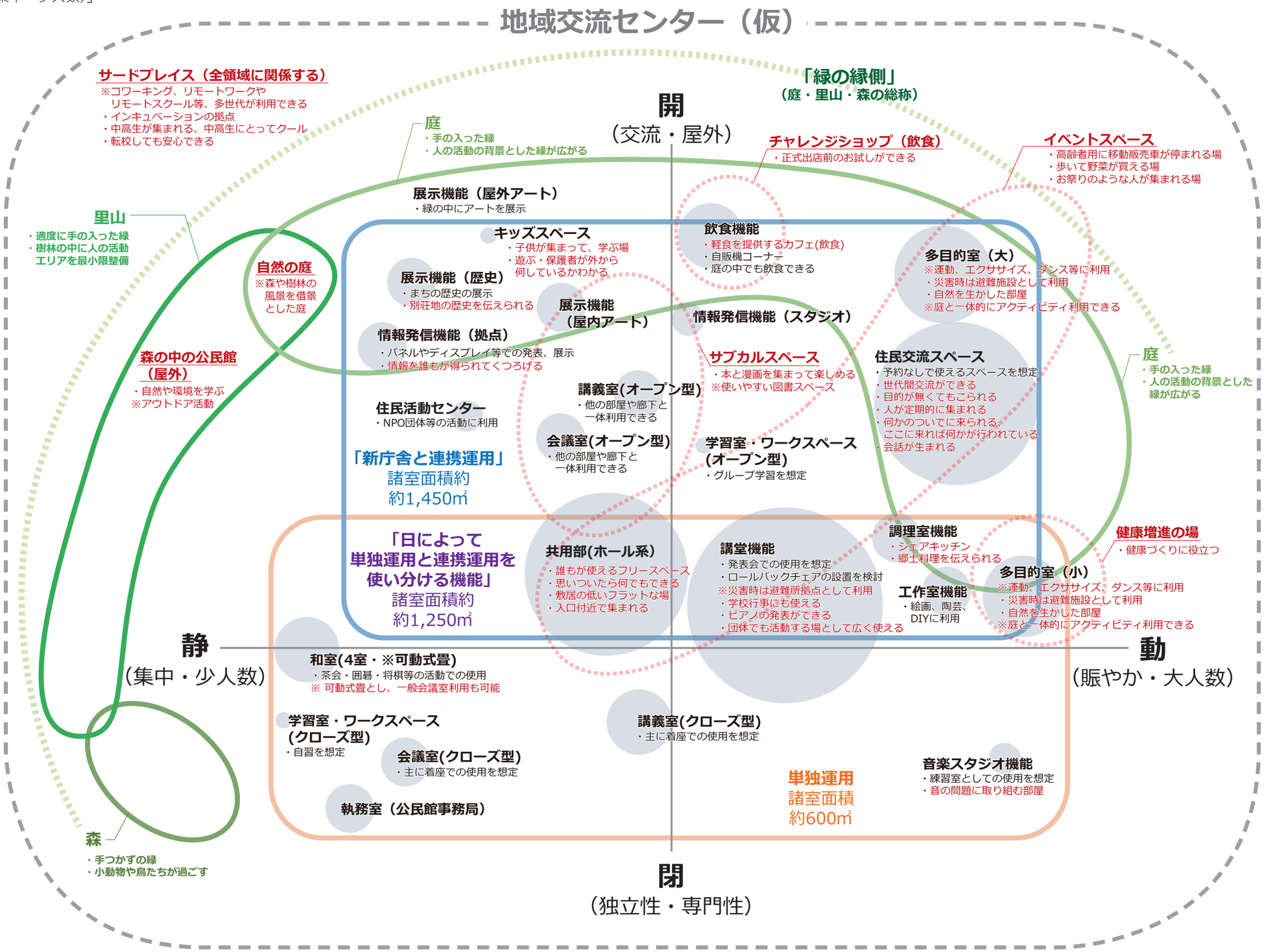
【縦軸】「開（交流・屋外）」⇔「閉（独立性・専門性）」
【横軸】「動（賑やか・大人数）」⇔「静（集中・少人数）」

赤文字：対話の場 Step2 での要望機能
（※：要望の言い回しをわかりやすく調整）

：対話の場 Step2 で要望のあった機能であるが、基本方針で提示している機能で賄えるもの

黒文字：基本方針で提示している機能

：基本方針で提示している機能の規模のイメージ

【公民館機能拡充施設の面積想定】

新公民館項目	想定面積
共用部（ホール系）	400 ㎡
住民交流スペース	400 ㎡
展示機能（アート）	90 ㎡
展示機能（歴史）	90 ㎡
情報発信機能（拠点）	90 ㎡
キッズスペース	30 ㎡
飲食機能	160 ㎡
情報発信機能（スタジオ）	50 ㎡
音楽スタジオ機能	50 ㎡
工作室機能	70 ㎡
調理室機能	70 ㎡
和室（４室）	160 ㎡
会議室	90 ㎡
会議室	90 ㎡
講義室	100 ㎡
	100 ㎡
	50 ㎡
学習室・ワークスペース	100㎡
多目的室（大）	250 ㎡
多目的室（小）	200 ㎡
講堂機能	510 ㎡
住民活動センター	50 ㎡
執務室（公民館事務局）	100 ㎡
倉庫	200 ㎡
共用部分（トイレ、EV、廊下、機械室等）	1,500 ㎡
合　計	5,000 ㎡